

人材育成から展開する

さとうみ

かがわの里海づくり

1000年先の未来へ。

美しい里、豊かな海



satoumi
project

Seto Inland Sea, Kagawa

香川県 環境森林部 環境管理課

副主幹 吉原 健司

2022年(令和4年)11月18日

1

かがわの海 … 瀬戸内海



小豆島

2



高松港



豊島家浦港

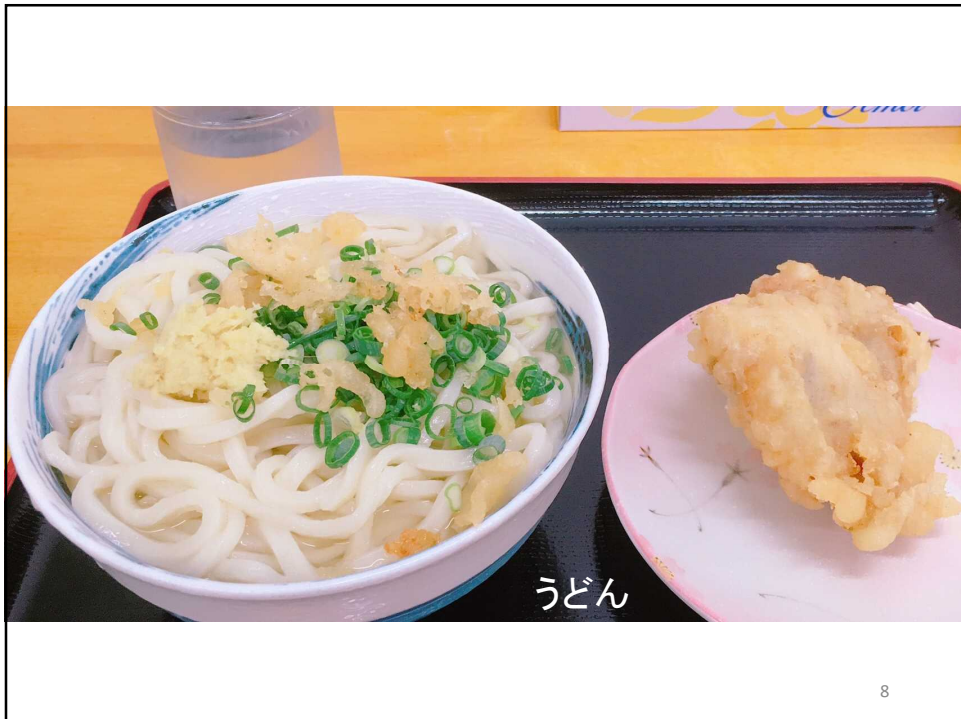
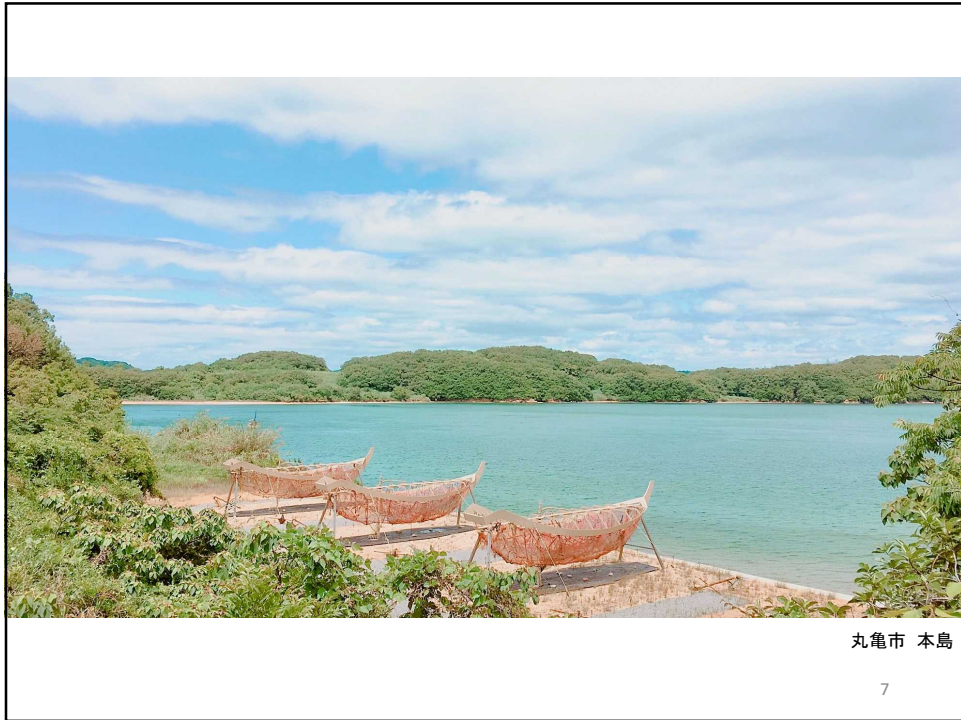
3

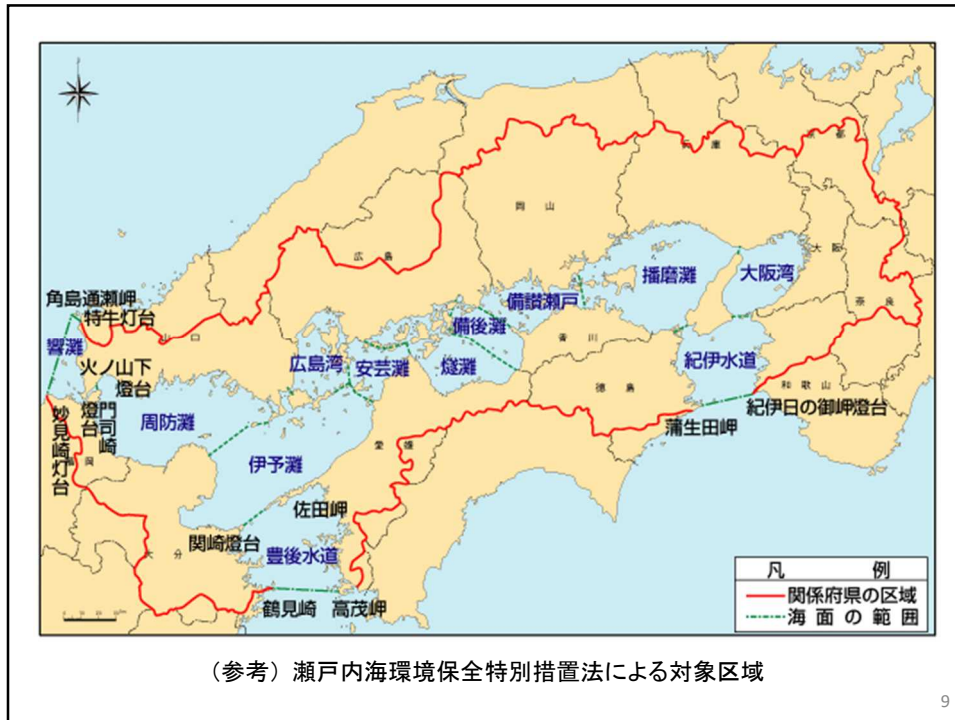


瀬戸大橋

4







9


もともと 瀬戸内海は美しい

奈良時代

万葉集に「玉藻よし 讃岐の国は…」と詠まれているように、香川の海は、海底に揺らぐ海藻が見えるほど透明度の高い海だった。

江戸時代


津田の松原(さぬき市)、松ヶ浦(坂出市)、有明浜(観音寺市)が白砂青松の名所として知られる。



江戸時代に紹介された津田の松原

幕末～昭和初期

- 幕末～明治
シーボルトやリヒトホーフェンらが世界に紹介する中で、「瀬戸内海」という呼び方が生まれる。
- 明治44年
香川県出身の小西和が瀬戸内海を総合的に論じた「瀬戸内海論」を刊行。
- 昭和9年
瀬戸内海が国立公園第1号に指定



昭和初期の備後瀬戸

10

昭和40年代(高度経済成長期)
瀬戸内海が「**瀕死(ひんし)の海**」と呼ばれた時代



今は・・・、こんなにきれいな海になりました・・・？



現在の香川の海(瀬戸内海)が抱える重要課題

- ① 改善傾向が見られない「有機汚濁」
(CODの環境基準達成率(R2) : 43%)
- ② 「栄養塩」の循環バランスの崩れ
- ③ 増加傾向にあるが、依然として少ない「藻場」
- ④ 対応が急がれる「海ごみ」問題
- ⑤ 「人と海の関わり」の希薄化

→ それらの課題を解決するために

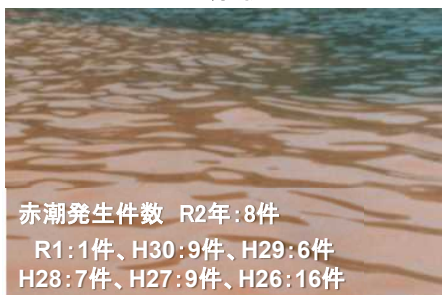
さとうみ
里海づくり



13

40、50年前に比べると、
水質はある程度よくなってきたけれど・・・

赤潮



赤潮発生件数 R2年:8件
R1:1件、H30:9件、H29:6件
H28:7件、H27:9件、H26:16件

夏／栄養(塩)が多くなると発生

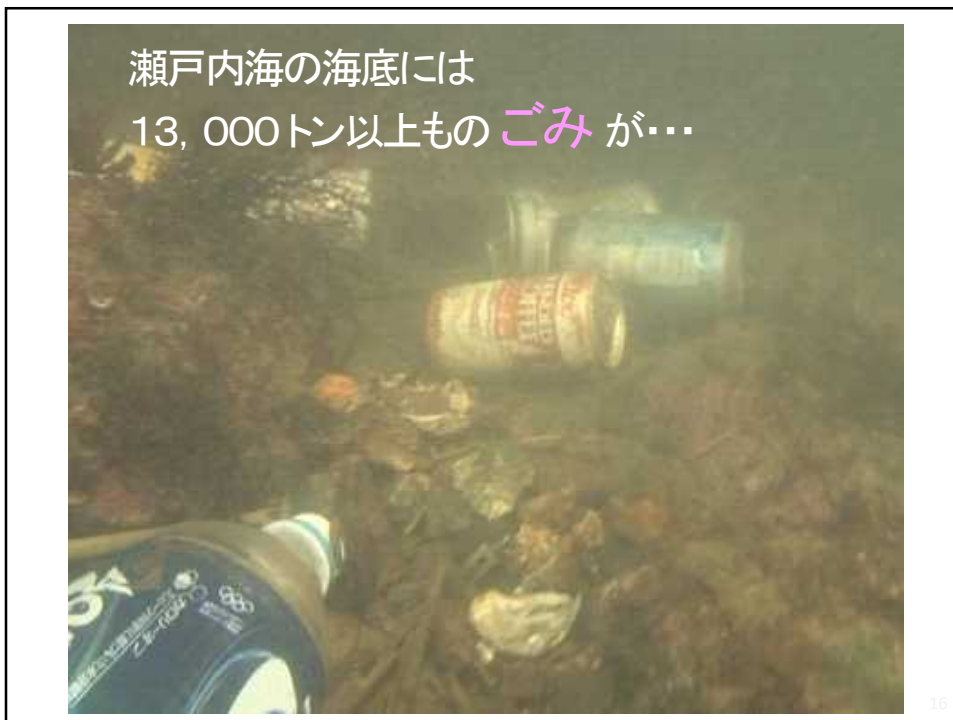
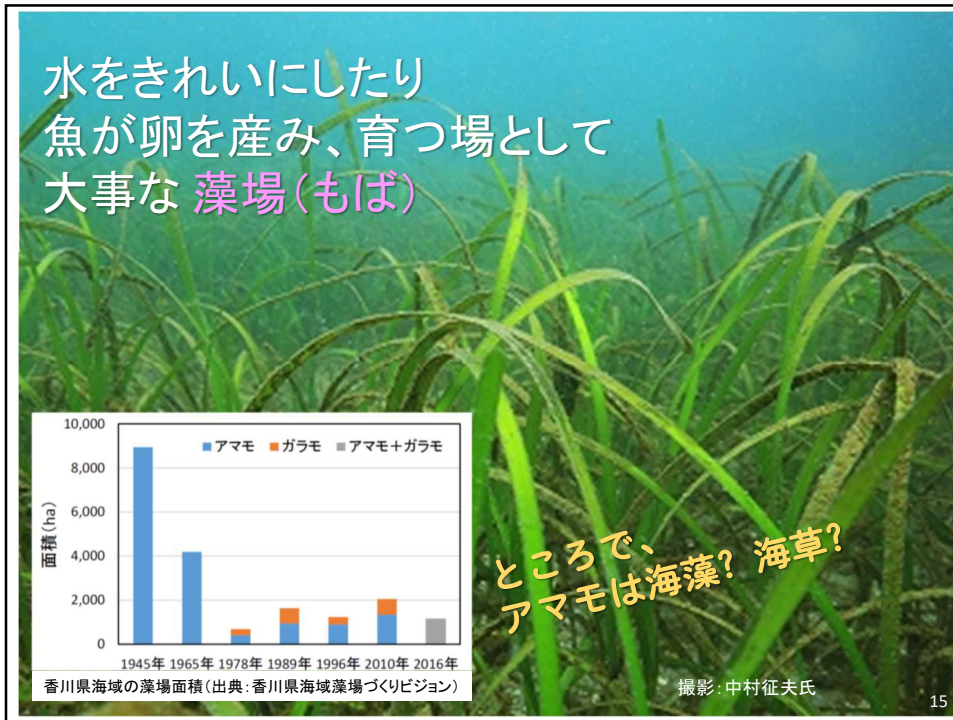
ノリの色落ち



冬／栄養(塩)が少なくなると発生

栄養塩のバランスが崩れている

14

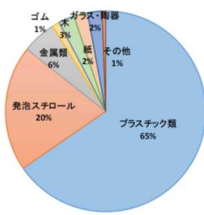


【参考】香川県の海ごみの状況（第3次香川県海岸漂着物対策等推進計画より）

香川県の海ごみの状況

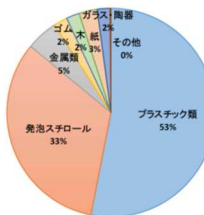
○ 海岸漂着物

- ・推計150t
- ・プラスチック類、発泡スチロールが8割以上
- ・ペットボトルや食品包装が多い



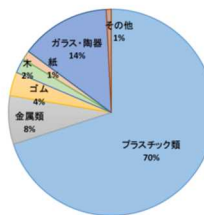
○ 漂流ごみ

- ・推計24t
- ・プラスチック類が半分以上
- ・発泡スチロールも3割以上
- ・ペットボトルが最多



○ 海底堆積ごみ

- ・推計325t
- ・プラスチック類が7割

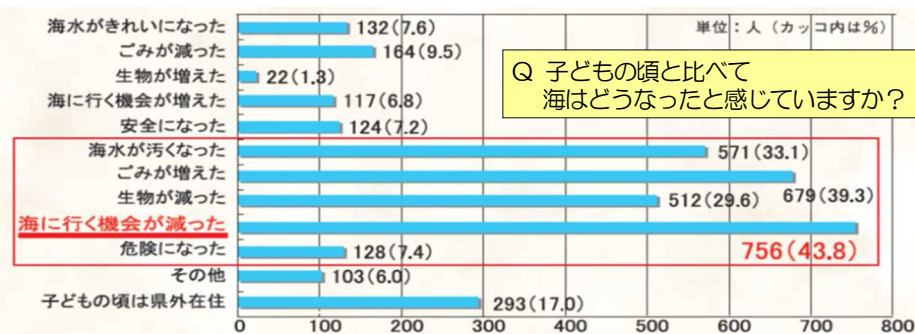


海ごみの種類（個数割合・R2香川県調査）

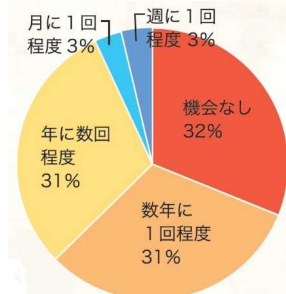
海ごみの大半がプラスチックごみなどの生活ごみ。

17

【参考】「人と海の関わり」の希薄化（H25 県民アンケート：回答1,725人）



Q 子どもの頃と比べて海はどうなつたと感じていますか？



Q 今、海・海辺でのふれあい・レジャーの機会は？



18

香川の海が抱える課題を解決するために

有機汚濁

栄養塩の循環
バランスの崩れ

藻場

人と海の関わりの希薄化

海ごみ



さとうみ
里海づくり



19



20



さとうみ
里海とは

海域・陸域を一体的に捉え、
人が適切に関わることにより、
多様な生物が生息できる健全な海の状態を保ち、
水産資源だけでなく、
景観、憩いの場、食文化、観光など
多くの恵みを享受できる「豊かな海」のこと。

人が自然と適切に関わることで
多くの恵みをもたらす豊かな海のこと